

デザイン学部

教養部会講師 木村 美奈子

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
【学会発表・口頭発表】 映像やメディアをめぐる揺れと発達（自主シンポジウム「子どもの心的世界の揺らぎと発達—自立しつつ戯れる表象」）	2011. 3. 25	日本発達心理学会第22回大会発表論文集 p13	幼児期の子どもの映像世界の理解を、遊びやファンタジーの理解の枠組みから整理し、検討を行った。
【学会発表・ポスター発表】 幼児の「写真の表象性」理解の困難—モノクロ写真とカラー写真の情動喚起力の差異に注目して—	2010. 9. 21	日本心理学会第74回大会発表論文集 p.1113	共著者：木村美奈子、加藤義信、瀬野由衣 実物大カラー写真、モノクロ写真等を用い、実物との視覚的類似性を操作し、写真の情動喚起力に差があるか否かを検討した。
【学会発表・ポスター発表】 人物の表象理解の発達モデル	2011. 3. 26	日本発達心理学会第22回大会発表論文集 p.422	共著者：木村美奈子、加藤義信、瀬野由衣 映像の表象性理解の発達をモデル化した「三段階モデル」を、ヒトとモノの映像理解の差異を説明可能とするモデルへと発展させた。
【著書】 映像やメディア理解をめぐるゆれと発達	2011. 9. 20	『子どもの心的世界の揺らぎと発達—「幼児の表象世界」論』 5章担当	共著者：木村美奈子ほか6名 子どもが映像世界をどのように楽しんだり理解したりしているのか、また、それらは発達に伴ってどのように変化していくのか、表象機能の発達と絡めて論じた。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 心理学 ◆前期 ◆後期 工夫の概要	
教材・資料等の概要 様々な分野の心理学を扱う授業なので、ともすれば、一貫性のない授業展開になりやすいが、本講義ではそれぞれの心理学の主要なトピックスを、二つの大きなテーマにそって展開した。また、学生自身が実験に参加できるように工夫した。さらに、学生には、毎回、授業の感想・質問を書かせ、授業の最初にそれに答える時間を設けた。	

授業科目 学習心理学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本科目は教職科目でもあるため、学習心理学の基本から、学校現場でも役に立つ知識まで、幅広く授業を展開した。また、教員採用試験に対応できるよう、試験対策もできるだけ授業に盛り込むよう心掛けた。	毎回、パワーポイントを用いて授業を行った。学生にはパワーポイント資料の重要点が抜けているところを穴埋め記述させ、重要点が分かりやすいように工夫した。ビデオ教材もできるだけ活用し、飽きの来ない授業を心がけた。	
授業科目 教育相談		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
本科目も教職科目であるので、今、学校現場で何が起きているのかを、具体的に考えさせる授業を展開した。また、実践的な観点から、実際に学生同士でカウンセラーとクライアントに分かれ、カウンセリングの練習を行った。授業内容によっては、学生をグループ分けし、グループ討論を実施した。	毎回、パワーポイントを用いて授業を行った。学生にはパワーポイント資料の重要点が抜けているところを穴埋め記述させ、重要点が分かりやすいように工夫した。ビデオ教材もできるだけ活用した。	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本発達心理学会	2002. 4より現在に至る	研究発表、論文の投稿
日本心理学会	2002. 4より現在に至る	研究発表
日本教育心理学会	2008. 12より現在に至る	研究発表